

駿府城周辺のまちづくり

この地区で目指す姿

歴史や文化に触れながら、散策や憩い、文化芸術活動を日常的に楽しむことができるまち

実現に向けた主な取組

1. 駿府城跡天守台野外展示

- 発掘調査で発見された天守台を公開するとともに、映像や展示を通じて駿府城の歴史や価値を体感できる環境を整備します。

2. 駿府城公園修景整備

- 城跡の特徴を活かした景観づくりや広場整備を進め、散策や憩い、イベントなど多様に利用できる空間を創出します。

3. 静岡市民文化会館再整備

- 文化芸術活動の拠点機能を充実させ、市民が文化芸術に触れ、自ら活動できる環境を整備します。

4. お堀の水辺の活用(葵舟)

- お堀の水辺空間の魅力を活かし、歴史資源を楽しめる体験機会の充実を図ります。

5. 文化事業への市民参画の推進

- 大道芸や文化芸術活動を日常的に楽しめる機会を創出し、歴史・文化資源とあわせてまちなかの魅力向上を図ります。

こんなことが実現されます

- 駿府城の歴史や文化を身近に感じながら散策を楽しめる。
- お堀や公園などの空間で、憩いやイベントを楽しめる。
- 音楽や演劇などの文化芸術に触れる機会や、自ら活動できる機会が充実する。
- 駿府城を中心とした歴史・文化資源が磨かれることで、まちに誇りや愛着を持てるようになる。

駿府城周辺図

凡例： ハードの取組 ソフトの取組

※各取組の詳細は取組名をクリック！



駿府城跡天守台野外展示

取組概要

駿府城跡天守台を野外展示として整備・公開することにより、市外からの来訪者が増えて地域経済が潤うとともに、市民の地域への誇りと愛着が深化する。

- 2016年度から2021年度までの発掘調査により、徳川家康公が築城した戦国時代末の天正期と江戸時代初めの慶長期の2つの時代の天守台が発見されました。
- 全国的にも貴重な「2つの時代の天守台」が同時に見られる野外展示を整備し、ガイダンス施設内のシアターで駿府城再現VR映像を上映します。
- 駿府城公園エリアを見学に訪れる人たちの滞在時間が増え、観光消費額を上げることで地域経済が潤います。



駿府城VR映像の数々

今後の予定

[illegible]

駿府城公園の修景整備

取組概要

日常利用やイベント利用との調和を図りながら、城跡の特徴を生かした景観づくりを進めることで、歴史文化を感じられる空間を創出し、誰もが散策や憩い、イベントなど多様な活動を楽しむことができるようにする。

- 現在、施設の経年劣化が進むとともに、駿府城ならではの歴史的な景観が十分に生かされておらず、城跡公園としての空間を感じられにくくなっています。
- 歴史や城跡の特徴を生かした景観を創出するとともに、園路や植栽を再整備し、イベントや防災活動など多目的に利用できる広場等を整備します。
- 駿府城の歴史文化を感じられる空間となり、散策や憩い、イベントなど多様な活動を楽しむとともに、多くの人に親しまれる公園となります。



今後の予定

	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年
本丸広場		実施設計	広場整備工事		供用開始					
馬場跡広場		実施設計			広場整備工事	供用開始				
中堀・土手					実施設計	散策路等整備工事	供用開始			

静岡市民文化会館再整備

取組概要

静岡市民文化会館を再整備(改修)し、市民が安心・快適に質の高い文化芸術に触れ、主体的で創造的な文化活動が行えるようになる。

- ・ 開館から47年が経過し、施設及び設備の老朽化が進んでいることから、トイレ改修(増設、様式化を含む)、大・中ホールの客席交換、電気設備等機器の更新、特定天井改修工事などを行い、最低限必要な安全性と快適性を確保します。
- ・ 既存会議室を練習室や簡易な音響・照明機能を有する多目的室へ改修することによって文化活動の更なる支援を図ります。
- ・ 改修工事や設備更新による施設の機能向上、長寿命化により、市民が日常的に文化芸術に触れ、文化芸術活動において自らを表現する場の確保や機会を創出します。



今後の予定

2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年
		●2027年1月 一部開館 ●2027年4月 全部開館							
工 事		維持管理運営							

⑥観光・スポーツ・文化

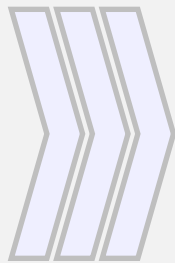
目指すべき未来像

食、スポーツ、芸術、歴史など多様な文化で人々の心が豊かになるまち、来訪者の増加を通じて地域経済が潤っているまち

現状と課題

- ・静岡市は、食、スポーツ、芸術、歴史等の多様な文化資源を活用したまちづくりを進め、観光振興、スポーツ振興、文化芸術活動の支援、文化財の保存等に取り組んできました。
- ・これらの世界に誇れる文化資源を有しながらも、観光振興による地域経済活性化の視点が十分とは言えず、一人当たりの観光消費額や外国人旅行者客数が少ない状況にあります。スポーツにおいては、これまでの健康増進の効果に加え、産業やビジネスによる地域活性化の効果を最大限活用する必要があります。文化芸術では、文化に触れる機会や文化を通じた交流の場はあるものの、より気軽に参加する機会の充実が求められています。また、文化財は、少子高齢化による担い手不足や文化財への関心の低下などにより保存・継承が困難となっており、文化財の劣化や滅失が進行しています。
- ・こうした課題を解決し、観光・スポーツ・文化を通じて、人々が心豊かになるようにするとともに、新たなビジネスの創出や市内への来訪者の増加により、地域経済を活性化することが求められます。

課題解決のための
具体的な取組



ガストロノミーツーリズムの推進

★取組概要

南アルプスから駿河湾までの標高差6,000mの自然に育まれた豊かな食材を活かし、「JIM I（滋味、地の味）ガストロノミーシズオカ」ツーリズムを推進する。来訪者がその背景にある歴史や人に触れ、食体験を楽しめる取組で観光誘客と周遊促進につなげる。



静岡市ならではの食体験



井川地区の在来蕎麦

お堀の水辺(葵舟)活用事業

★取組概要

駿府城周辺

駿府城公園・二ノ丸堀において、民間の企画力・経営能力等を活かした遊覧船「葵舟」の運航を支援し、駿府城公園周辺エリアの魅力向上と誘客を図ることで、観光客の滞在時間延伸と観光消費額を高めていく。



翼櫓と葵舟



水縁祭の実施

街道を軸とした広域観光の推進 (東海道53次・57次)

★取組概要

由比・蒲原地区

日本遺産に認定されている静岡市、藤枝市の「二峠八宿」の豊富な歴史資源や、絶景、特産品、人々との交流を楽しめる場を提供する。東海道57次沿いの自治体と連携し「東海道」という大きな観光資源を活かして、誘客と周遊促進を進めていく。



薩埵岬



宇津ノ谷地区

⑥観光・スポーツ・文化

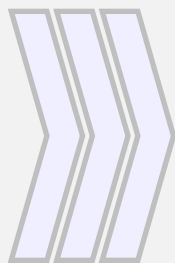
目指すべき未来像

食、スポーツ、芸術、歴史など多様な文化で人々の心が豊かになるまち、来訪者の増加を通じて地域経済が潤っているまち

現状と課題

- ・静岡市は、食、スポーツ、芸術、歴史等の多様な文化資源を活用したまちづくりを進め、観光振興、スポーツ振興、文化芸術活動の支援、文化財の保存等に取り組んできました。
- ・これらの世界に誇れる文化資源を有しながらも、観光振興による地域経済活性化の視点が十分とは言えず、一人当たりの観光消費額や外国人旅行客数が少ない状況にあります。スポーツにおいては、これまでの健康増進の効果に加え、産業やビジネスによる地域活性化の効果を最大限活用する必要があります。文化芸術では、文化に触れる機会や文化を通じた交流の場はあるものの、より気軽に参加する機会の充実が求められています。また、文化財は、少子高齢化による担い手不足や文化財への関心の低下などにより保存・継承が困難となっており、文化財の劣化や滅失が進行しています。
- ・こうした課題を解決し、観光・スポーツ・文化を通じて、人々が心豊かになるようにするとともに、新たなビジネスの創出や市内への来訪者の増加により、地域経済を活性化することが求められます。

課題解決のための
具体的な取組



文化芸術に親しむまちづくりの推進

★取組概要

おまち周辺

市内で活躍するプロの交響楽団と連携し、オープンスペースや商業施設でのまちかどコンサートや、こども園・学校へのアウトリーチ等を開催することで、日常的に文化芸術に親しむ機会を充実させる。



まちかどコンサート
(静岡駅北口地下広場)



学校訪問コンサート

文化事業への市民参画の推進

★取組概要

駿府城周辺

静岡まつりや大道芸ワールドカップなどの大型文化事業は、多くの市民・企業が参画し実施している。文化事業を通じて、多分野に渡る課題の解決に向け更なる参画を推進していく。



大道芸ワールドカップ



静岡まつり

文化財を活かした蒲原地域の まちづくり検討

★取組概要

由比・蒲原地区

蒲原地域において、地域住民や事業者と連携して地域の将来像や文化財の活用方法を話し合い、具体的に取り組むことで、地域への愛着や誇りを深め、宿場のまちなみを未来へつなぐ。



蒲原地区の文化財建造物
(左・志田邸 右・旧五十嵐歯科医院)